



今日何食べた？



greentea0117

## 今日何食べた？

---

### 今日何食べた？

「今日何食べた？」

私たち夫婦の夕食の会話は、毎日大抵このセリフで始まる。朝食と夕食はしているわけだから、その日の昼食のことだ。

「オレはね、焼肉」

「焼肉。出先だったの？」

「ううん、もうれつに肉が食いたくなって、焼肉屋に入った。店員せかしてカルビとモツを持って来てもらって、全部いっぺんに網の上にぶちまけた。あの食い方はうまかった。今度やってみよう」

「そうだね」

私は言い、ご飯を口に運ぶ。

「で、何食った？」

「私はおさしみ。私もなんかがつつり食べたくなくて、さしみ定食奮発した。まぐろ、イカ、ハマチがかなりの量だった」

「それでいくら？」

「お味噌汁、ご飯ついて七百円」

「ふーん」

魚の切り落とし部分を使っているから、本当に量が多くて満足感があるのにその値段なのだ。でも私はその種明かしを話す気にはならなかった。

結婚何年目からだろう。食卓で顔をつきあわせていても、話すことがなくなったのは。一日一回、夫婦で食事をすることにしようと言ったのは私だった。

「会話不足がすべての不仲の根源なのよ」

新婚の私は自信たっぷりに言い切った。私たちはその約束を忠実に守ってきた。一方がどんなに遅くなっても、ビールを飲みながら待っていた。会社での悩みから社会情勢まで私たちの話題は尽きなかった。

それは月の満ち欠けのように自然だった。いつのまにか、私たちの間から言葉が消えていった。とても静かだった。ある日は夫がきれいにグラッセにしたにんじんを食べ、ある日は私が煮込んだシチューを食べた。ずっと無言だった。どちらもが、言葉を出すタイミングを、永遠に失ってしまったかのようだった。

ある時酔っぱらって帰ってきた夫が言った。

「今日何食べた？」

だらしなく玄関に寝転んでいる夫を見下ろしていた私は、立ち去ろうとして、夫を振り返った

。赤い顔で眠りこけている。この人はこの言葉を言うタイミングをもうずっと待っていたのだ。  
私は眠る夫の横にしゃがみ言った。

「今日はカキフライを食べた。仕事疲れたから抜け出して、喫茶店でお茶を飲んだ。あなたは？」

すべての不仲の原因が会話の不足だとは限らない。私はそのことを悟りつつある。